

地域・職域連携の推進に向けた検討状況

資料 1

目的

国の「地域・職域連携推進ガイドライン」の改訂に伴い、都における地域・職域連携の取組の方向性について検討し、次期計画の推進に向けた取組につなげる。

< 議論の流れ >

地域・職域連携の意義の理解、連携の現状把握
(令和元年度)

現状を踏まえた方向性について、取組の大まかな意見交換 (令和元年度)

中・長期的な視点で取組の方向性について検討
(令和2年度)

議論

令和元年度第2回施策検討部会（令和元年12月）において、地域・職域連携推進ガイドラインの意義や、都における地域・職域連携の現状等を踏まえ、今後の取組の方向性に向けた議論を行った。

< 議論における主な意見 >

【健康経営の推進について】

- ・健康経営の取組の進め方について知りたい
- ・健康経営の取組を通じた地域貢献や人を資本とする考え方が重要

⇒ 健康経営を始めるためのきっかけ（動機付け）づくりや、健康経営による効果の周知が必要

【連携の際のリソースの活用について】

- ・専門職の有効活用や事業の周知方法などの検討が必要
- ・既存のリソースの活用が不十分

⇒ 人材（保健師・栄養士等）や施設、啓発資材などの共有・活用について検討が必要

【連携強化の方向性について】

- ・地域から職域に目を向け、連携できるところから開拓していくことが必要
- ・教育機関の活用など、子供から家庭（働く親世代）へつながる取組の検討が必要

⇒ 教育機関、保険者、事業所などとの連携強化が必要

【東京都健康推進プラン2 1（第二次）推進会議委員からの主な意見（令和2年3月）】

- ・健康経営に取り組む企業は拡大しているが、取組後の従業員の行動変容や成果確認、情報収集等を行い、よりよい展開に向けたデータ分析が必要。
- ・今後コラボヘルスが進み、関連データが使えるようになったらその活用を検討してみてもどうか。評価計画も大切。
- ・関係機関との共創が進めやすいように、施策で目指すことを明確にし、効果検証するための設計が大切。
- ・地域・職域連携の対象をある程度フォーカスして展開し、視点を定めて職域への取組を推進していくなど、方向性を明確にした方が進めやすいのではないか。

これらを踏まえ...

地域・職域連携の取組検討アンケートの結果と合わせ、改めて現状を踏まえた課題の分析、取組の方向性や取組内容のリストアップなどを行い、中・長期的な視点で取組の方向性を検討する。

検討スケジュール

	令和元年度					令和2年度													
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
プラン21(第二次)推進会議	★10/15					★3/19													推進会議①
施策検討部会		★11/19	★12/19	★1/31						★7/7				★12/9					施策検討部会③

アンケートの実施・とりまとめ
➤ 課題の整理、取組の方向性や内容をリストアップ

地域・職域連携の取組内容について
中・長期的な視点での方向性を検討

【議題予定】
R2事業実施状況、R2実施調査状況、
R3予算要求状況、
R3実施予定調査項目検討